

低コスト林業機械リース等支援事業のお知らせ

(平成 26 年 4 月 1 日版)

平成 26 年度から低コスト林業機械への支援制度が変わりました。

1. 低コスト林業機械リース等支援事業の概要

持続的な林業経営を推進するため、低コスト施業体制に取り組もうとする林業事業体等の機械化を支援します。

2. 26 年度における変更点

(1) 補助率

	平成 26 年度		平成 25 年度
リース、レンタル	1 / 2	←	3 / 10 (新規雇用を伴う場合 1/2)
購入※	3 / 10	←	3 / 10 (新規雇用を伴う場合 1/2)

※購入には国庫補助金も活用できます。詳細は裏面（参考：国庫補助事業）をご覧ください。

(2) 目標の設定

支援を受けるためには、目標の設定が必要です。

【スイングヤーダ、ハーベスタ、プロセッサ、グラップル、フォワーダ】※中古も対象
・支援を受けようとする年度の「素材生産（取扱）目標」を設定してください。

《リース・レンタル支援についての要件》

- ・素材生産（取扱）目標は、平成 24 年度または前年度実績の 10%（県全体の目標値）以上の増となること。
- ・素材生産（取扱）目標等から、事業体毎にリース・レンタル支援の上限台数を決定。

リース・レンタル支援の上限台数 = 必要台数 - 保有台数

(必要台数 = 素材生産（取扱）目標量（単年度ごと） ÷
機械ごとの年間標準作業能力 + 1 台)

【バックホウ】

- ・開設する森林作業道の目標延長を設定してください。
→ 目標延長は、年間 2,800m/台 以上が必要です。

【トラック】（平成 25 年度から変更はありません。）

- ・トラックを活用して搬出する目標を設定してください。
→ 年間 1,800m³ 以上の木材を運搬すること、かつ、導入前の搬出量より年間 700m³/以上の増加が必要です。

【リース・レンタル支援の上限台数の計算例】

《例1》フォワーダ1台のリース支援を要望しているA林業事業体

$$\begin{aligned}
 & \left(\begin{array}{l} \cdot \text{素材生産目標：3,000m}^3/\text{年} \\ \cdot \text{保有機械：グラップル1台、フォワーダ1台} \end{array} \right) \\
 \cdot \text{必要台数} &= \text{素材生産目標（取扱）量} \div \text{フォワーダの年間標準作業能力} + 1 \text{台} \\
 &= 3,000 \div 2,400 + 1 \text{台} \approx 2 \text{台（四捨五入）} \\
 \cdot \text{支援上限台数} &= \text{必要台数} - \text{保有台数} = 2 - 1 \\
 &= \text{フォワーダ1台}
 \end{aligned}$$

《例2》グラップル1台のリース支援を要望しているB林業事業体

$$\begin{aligned}
 & \left(\begin{array}{l} \cdot \text{素材生産目標量：500m}^3/\text{年} \\ \cdot \text{保有機械：なし} \end{array} \right) \\
 \cdot \text{必要台数} &= \text{素材生産（取扱）目標量} \div \text{グラップルの年間標準作業能力} + 1 \text{台} \\
 &= 500 \div 2,000 + 1 \text{台} \approx 1 \text{台（四捨五入）} \\
 \cdot \text{支援上限台数} &= \text{必要台数} - \text{保有台数} = 1 - 0 \\
 &= \text{グラップル1台}
 \end{aligned}$$

機種	スイングヤーダ	ハーベスタ・ プロセッサ	グラップル	フォワーダ
年間標準作業能力 (m ³ /年)	3,200	4,000	2,000	2,400

（3）募集時期

○原則として、年1回（4月）事業募集を行いますので、期限までに事業計画を提出してください。

→ 事業計画を審査のうえ、事業の採択を決定します。事業の採択にあたっては、目標値、実績等により優先順位を決定するため、採択にならない場合もあります。

（4）支援の対象となる期間

○リース・レンタルについては、4月中に交付申請された場合は、4月1日から支援対象期間とします。

3. 申請までのスケジュール

平成26年3月下旬 ～4月15日	4月15日～下旬	4月下旬
事業計画書の提出 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> （事業体） ↓ （所管事務所） ↓ （県産材・林産振興課） </div>	審査・配分決定 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> （県産材・林産振興課） ↓ （所管事務所） ↓ （事業体） </div>	交付申請・交付決定 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> （事業体） 交付申請 ↓ （所管事務所） 交付決定 ↓ （事業体） </div>

【事業一覧表】

(単県事業)

項目	機械整備支援		機械リース・レンタル支援
	新 品	中 古	
補助率	3/10		1/2
限度額※	600 万円/台		130 万円/台
対象機種：スイングヤーダ、ハーベスタ、プロセッサ、グラップル、フォワーダ			
事業主体	素材生産業者、森林所有者、鳥取式作業道開設士、鳥取式作業道開設士が所属する団体	森林組合、森林組合連合会、素材生産業者、施業受託者、森林所有者、鳥取式作業道開設士、鳥取式作業道開設士が所属する団体 ※建設業者等の林業参入の初年度はリースのみ	
採択要件等	機械購入は、国庫補助事業の活用を優先。 中古機械を導入する場合には、3年以上稼働できるものであること。		事業実施年度の素材生産目標が、平成 24 年度または前年度実績の 10%（県全体の目標値）以上の増であること。 →この素材生産目標を基に算出した必要台数から、対象機械の保有台数を除いた数をリース支援の上限台数とする。
対象機種：トラック			
事業主体	森林組合、素材生産業者、施業受託者、森林所有者		
採択要件等	○機種：4t～10t ①～③すべてを満たすこと。 ①自ら材を伐採・搬出し、グラップル等積込み機械を保有（リースも含む）する者 ②導入前より 700m3/年以上搬出量を増加すること ③導入するトラックで 1,800m3/年以上の木材の運搬に使用すること		
対象機種：バックホウ			
事業主体	素材生産業者、森林所有者、鳥取式作業道開設士、鳥取式作業道開設士が所属する団体	森林組合、森林組合連合会、素材生産業者、施業受託者、森林所有者、鳥取式作業道開設士、鳥取式作業道開設士が所属する団体	
採択要件等	○機種：原則、0.3m3 以下（但し、知事が必要と認める場合は除く。） ○導入するバックホウで森林作業道を 2,800m/年・台※以上開設すること。		

低コスト林業機械リース支援等事業についてのお問い合わせはこちら↓↓→→

○お近くの農林業振興課または林業振興課

地方事務所	担当課	住 所	電 話
東部農林事務所八頭事務所	農林業振興課	〒680-0461 八頭郡八頭町郡家 100	0858-72-3830
中部総合事務所農林局	林業振興課	〒682-0802 倉吉市東巖城町 2	0858-23-3181
西部総合事務所農林局	農林業振興課	〒683-0054 米子市糺町 1 丁目 160	0859-31-9678
西部総合事務所日野振興センター	農林業振興課	〒689-4503 日野郡日野町根雨 140-1	0859-20-2021

(参考：国庫補助事業)

項目	森林・林業再生基盤づくり交付金				森林整備加速化・林業再生基金事業
	森林整備型	素材生産型			
対象機種	スイングヤード、ハーベスタ、プロセッサ、フォワード、フェラハンチャ、スキッド、タローヤード、機械保管倉庫				
	グラップル付きトラック、バックホウ、ロクロード、自走式搬機、グラップルクレーン、集材機	ロングリーチハーベスタ、ロングリーチグラップル、その他高性能林業機械			グラップル付きバックホウ、グラップル付きトラック、自走式搬機、集材機、その他高性能林業機械
事業主体	市町村、森林組合、生産森林組合、森林組合連合会、林業者等の組織する団体				市町村、森林組合、生産森林組合、森林組合連合会、林業者等の組織する団体、地方公共団体等の出資する法人、林業事業体、森林整備法人、林業公社、施業受託者、流域森林・林業活性化センター
	都道府県、森林整備法人、林業公社、施業受託者、流域森林・林業活性化センター	森林所有者の協業体、地方公共団体等の出資する法人、林業事業体			
事業規模限度額	事業費は概ね 500 万円/台以上				
	ハーベスタ 2,400 万円、プロセッサ 2,100 万円、フォワード 1,200 万円、スキッド 1,250 万円、タローヤード 2,250 万円/台				購入価格の 1/2
補助率	4.5/10	1/2	1/3	4/10	定額 200 万円/千 m3/3 年平均
採択要件	森林経営計画の認定を受けている者であって、概ね 100ha 以上の団地を設定していること。	素材生産量等の目標が県の目標値以上又は目標値の伸び率以上			
		①～③を満たす者 ①施業集約化実践体制基礎評価の認定を受けていること。 ②5 千 m3/年以上の素材生産実績があり、目標年度までに 9 千 m3/年達成できること。 ③目標年度までに県の目標値の 1.5 倍の素材生産性を達成できること。	左右以外	スイングヤード、ロングリーチハーベスタ、ロングリーチグラップルの場合	—

○県庁 森林・林業振興局 県産材・林産振興課

- ・住所：鳥取市東町一丁目 2 2 0 （鳥取県庁本庁舎 4 階）
- ・電話：0 8 5 7－2 6－7 3 0 7（担当：小谷）

ご不明な点はお気軽にお問い合わせ下さい。